

新宮山彦ぐるーふ第2401回

不動峠を歩く会（不動峠地蔵堂再建5周年記念）

お聞きした後、豚汁をいただきながら各自昼食を摂りました。

最後に、柴田實英先達をはじめとする熊野修験による護摩供が厳かに奉修された後、往路と同様に一列一団となつて下山した。

（記・湯川）

◇実施日 11月23日（日・祝） 晴れ
◇参加者

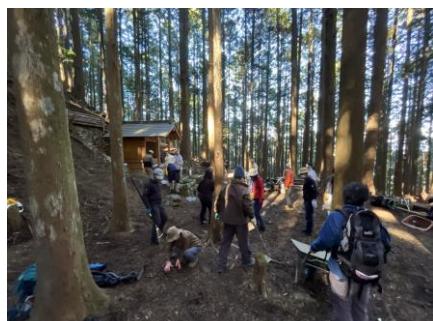
大江加予子、大江徳子、畠林秀味、濱野兼吉、松本吉殖、森奈良好、芦田由香、湯川一郎、阪口雄二、生熊千満子、三谷喜美、上村和美、上村洋司、小山佳子、山川自知、高階美根子

16名

今年9月28日に下北山桑原公民館で不動峠地蔵堂再建5周年記念「北山郷・不動峠の街道を語る会」が行われた。今日はこの企画の一環として「不動峠を歩く会」が開催され、ぐるーふメンバー16名が参加した。

田戸口登山口近くの広場で受付（参加費一人500円、護摩木一本100円以上の寄付）を済ませ、ここで沖崎代表は行仙宿での作業に向かわれた。出発前に不動峠地蔵堂保存会の山本恭裕さんから挨拶があり、熊対策のため一列一団で歩くこととする旨が伝えられた。

不動峠までは特段危険な箇所もなく、法螺貝の音と懺悔懺悔六根清淨の声が杉・檜の混成林に響き渡った。途中数カ所で小休憩をとり、全員が不動峠に着いた。到着後、お堂周りの清掃、お堂の補修（部分的な再塗装）、豚汁を作る班に分かれて作業に取りかかった。作業が一段落したところで山本さんから明和9年に地蔵堂本尊が安置された当時の時代背景や地蔵堂再建までの経緯などの説明を



お堂周りの清掃



開催挨拶（左：山本恭裕さん）



熊野修験による護摩供



背負子（鍋等）は、途中から阪口さんが背負った

行動タイム
田戸口登山口 9:17→10:59 不動峠 12:00→13:07 田戸口登山口